施 策 評 価 シ ー ト

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 行政情報課

施策名	44 デジタル行政サービス
政策名	持続可能な行財政運営を行う
施策がめざす将来の姿	・効率的で利便性の高い行政サービスを提供するスマート市役所を実現しています。 0

③ 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
オンライン申請可能な手続数	件	16	100		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	48	70	72		

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
オープンデータの公開数	件	13	50		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	18	18	18		

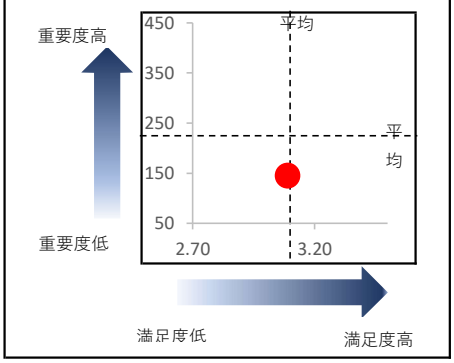
3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和7年度
145

満足度（満足している市民の割合）／単位（%）		
令和6年度		**令和7年度**
88.3	→	88.9

※増減（→）の基準は３ポイント以上とする

R7重要度・満足度（他の施策と比較した位置）



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

市民アンケートにおいて、重要度、満足度が共に改善傾向にあることから、オンライン申請の浸透が徐々に進んでいると思われる一方、定住市民にとって市役所での申請行為の機会が少ないため、重要度については今後も低水準にとどまると考えられます。

フロントヤード改革による書かない窓口と併せてオンライン申請を広めることで、利用者の満足度を高めること、そしてペーパーレス化や業務フローの改善による職員の事務効率向上のためにも、継続して推し進めるべきだと考えます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：地域情報化事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
2,427	ＬｏＧｏフォームの利用契約	→	↗	マイナンバーカードによる個人認証や、オンライン決済を使用してもらえるように、研修や事例紹介を実施して、利用の拡大を図ります。	○